

(様式第4号)

第8回 武石地域協議会 会議概要

1 審議会名	武石地域協議会
2 日 時	令和6年11月14日(木) 午後7時から午後8時50分まで
3 会 場	武石地域自治センター3階 大会議室
4 出 席 者	橋詰会長、大島委員、佐藤委員、城下委員、 中原(健)委員、中原(夏)委員、平林委員、宮原委員 【欠席委員8名】
5 市側出席者	酒井武石地域自治センター長、鈴木地域振興課長、 白鳥市民サービス課長、岩下産業観光課長、若林武石地域教育事務所長、 矢ヶ崎丸子・武石上下水道課長、 宮島上下水道局長、関上下水道基盤強化対策室長、緑川経営管理課長、 矢澤上水道課長、堀内上下水道基盤強化対策室長補佐 下村地域総合調整幹、佐藤地域担当、岩井地域政策担当主査、 清水地域政策担当主査
6 公開・非公開	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ <input type="checkbox"/> 一部公開 ・ <input type="checkbox"/> 非公開
7 傍 聴 者	0人 記者 0人
8 会議概要作成年月日	令和6年11月 日

協 議 事 項 等

1 開 会 (事務局)

2 あいさつ (会長、センター長)

(会 長) 10月12日のにぎわい広場の整備が終了し、お披露目行事ということで地域一丸となって盛り立てて、住みよい地域武石を目指していきたい。

(センター長) 本日は、協議事項として市の重要課題の一つである水道事業の今後の在り方について、前回説明し、本日はご意見をいただくようになっている第三次総合計画「地域まちづくり方針」についての協議、以前より市から諮問された上田地域における地域協議会の設置単位と委員数等についての協議をお願いする。これについてはグループ討議で議論を深めて協議いただきたい。

3 協議事項

(1) 上田市水道事業の今後の在り方について (上田長野地域水道事業広域化に関する検討報告)

【事前配布資料、資料 1～4】 (事務局説明)

【質疑等】

(委 員) 一番のメリットは広域化することによる国庫の補助が得られるということになるのか。国の制度として単独運営の場合の助成金制度等はないのか。

また、現在県営水道である塩田等については市営水道にすることにより水道料金が上がるという問題もあると思うがどのように考えるのか。

(事務局) 補助金の関係については、広域化に取り組むと国の補助金が活用でき、料金の抑制効果がある。なぜこのような効果が出るかという補助金等の収入を607億円と見込んでいることが大きな効果のひとつである。市単独運営した場合の補助金の制度はあるが、広域化と比べると限られている。水道事業は創設当初から皆様の水道料金で賄ってきたという歴史がある。下水道事業のように国の施策で行っていると補助金があるが、水道事業は昔から行っているという中で補助制度は道路等、他の事業に比べると薄い。そのような状況もありこの機会に補助制度が活用できるということで料金の抑制が図られるということが広域化を検討する大きな動機の一つとなっている。

県営水道のエリアの料金の関係について、全国事業体の水道料金の平均が約3,300円となっており、

これに対し県営水道は標準的の3,313円、上田市は2,862円となっており、県営水道の方が高い。ただし、広域化した場合、県営水道や上田市の水道料金は統一され、料金の抑制が図られる。

(委員) 人口推移から見て広域化していかなければいけないということは理解したが、武石地域協議会としては染屋浄水場等の修繕等で費用が莫大にかかるということは分かるが、武石地域の实情や状況を市としてどのように判断しているのか。

(事務局) 武石地域は素晴らしい湧水水源がある。台風19号以降、この水源が荒れてきている状況もあり、余里等の水の湧き方が減ってきており影響が出てきている。当地域は昨年来も投資を続けてきた経過があり、余里地区、唐沢水源については濁り等を除去したり、水の量が足りないといった状況に対処するため、新たに浄水器を設置し対策している。

(委員) 武石地域は今後人口が減ってくるため水道管の劣化等の修繕も配置されている水道管も長くなるので武石地域における水道の修繕が多くなっていくのか。

(事務局) 武石地域については武石村当時に整備した設備を引き続き活用している部分が多い。管路等についても修繕が必要となってくると思われる。中山間地については、例えば1kmあたりに使われる人口数が少ない等、一人あたりに換算する修繕費等の費用が高くなる傾向だが、組織が大きくなると地域全体で守っていくということになるので、地域全体の皆様に負担しながらやっていくという取り組みになる。しかし、施設の更新は控えている。

(委員) 長和町とは今後どのようにやっていくのか情報はあるか。

(事務局) 県環境部で示している県全体を見据えた取組の中で、上田・長野圏域の中で先ず事業体5団体(長野市、千曲市、坂城町、上田市、県企業局)で事業統合を視野に入れた連携の検討し中核を作る、その後、周辺の事業体(長和町等9団体)と人材育成等の技術連携や一部事務の連携など、実現可能なものを検討する。

また、上小地域において広域化した場合は、上田市が中核となり当地域の水道事業を運営していくことが想定されるが、上田市は、将来人材不足が見込まれている中、上小地域を支えることは、大きな課題となる。これにより、まず、上田市が上田・長野間の広域化に取り組み、組織体制の強化を図った中核となる新たな水道事業体を構築した上で当地域における広域連携の検討に取り組むことが上田市にとってベストな形と考えている。この考え方は、上小地域の水道事業体に理解をいただき、県の考え方もそのような形ということで進めていきたい。これについては上小地域にも説明し、上田市はこのような取組でやらせてもらいましたということで意見をいただいた。

(委員) 水道は蛇口をひねれば自然に出てくるものと思っているが、これだけお金がかかり維持することも大変であることが分かった。2050年代には水道料金も相当上がると試算されていて今後生活のしづらさが直結してくるという印象を受けた。

(委員) 今後新しい水道管を設置して長野市等につなげていくということか。

(事務局) 武石地域含めた上田市の中の水は、染屋浄水場の給水区域を含め上田市内までと考えている。下流域の坂城町、千曲市については県営諏訪形浄水場の水が行く。上田市の水を下流域に送る能力がない。

(委員) 今の水道管では長野地域まで供給する能力はないのか。

(事務局) 水道管自体は県営水道の諏訪形浄水場から千曲市までは整備されている。管自体は供給能力は有している。ただし、上田市の染屋浄水場、丸子の腰越浄水場などで作っている水をこの市外に送るだけの浄水能力がない。

また、下流域の方に行く管が現在1本しかないため、非常時対応ということで二重化を図る整備を計画している。これにより坂城町、千曲市の方に危機管理体制を踏まえた安定した供給ができる体制を作っていく。

(2) 第6回地域協議会協議内容の確認について【事前資料 1】(事務局説明)

・委員からの意見、質問なし

(3) 第三次総合計画「地域まちづくり方針」について【前回会議配布資料】(事務局説明)

【質疑等】

(委員) 地域の特性と発展の方向性と取組の方向性はどのような繋がりがあるのか。取組の方向性はより具体的なやることとなり、その下に具体策があるのか。総合計画でより実現するための具体的な施策やるべきことは取組の方向性の下にあるのか。取組の方向性を導き出すために発展の方向性があり、発展の方向性は地域の特性に見合った形で伸ばすもの、もう少し手を入れていけないといけないものという形か。

(事務局) そのように組み立てられている。今回初めて第三次総合計画として内容を作り上げたものではなく、第二次総合計画に記載された内容も示し、これまでいただいた意見を踏まえた上でこのような構成となっている。総合計画は10年計画になっているので、新たな10年に向けた中で、現状の課題、まちづくりに沿ったものを中心に掲載している。全てを網羅しきれているかという点と足りない部分もあると思うが、これまでのものを継承した形で掲載している。

(委員) 展開になっていない。こういった地域の特性があるのでそれに対してこのように取り組んでいき、このように展開をしてこのようにしていこうという繋がりが見えない。例えば過疎の問題として地域特性で「地域外への流出による人口減少と少子高齢化の進行」とあり、発展の方向性に過疎対策を充実させ、地域の課題解消を図り活力ある地域づくりを推進しますと言っていて、取組の方向性には載ってこない。繋がりが見えない。

(事務局) 過疎対策についてもどれが過疎対策とリンクしているかというところまでは書ききれていない。個々の中では武石地域として過疎債を使って取り組める事業があるのでそういったものを取組の中に活用しているという繋がりにはなっているが、それをどれがという標記しきれていない。

(委員) 取組の方向性なのでそういったプランを謳っておかないと具体的な施策に繋がらない。具体的な施策は下に出てくるので地域の特性とそれに見合った方向性という繋がりなのか。地域の特性をまず見て何を伸ばしてというところからスタートしているのか。地域の特性に合った武石地域ならではの取組にしていくためには地域の特性を見るべき。地域の特性から見たときにこういうことで具体的にどのように展開するか、そのうえでどういった取組をしてより具体的な施策という流れかと思う。

(事務局) 仰っているような形になっていない。なぜかといえば、例えば過疎対策について取組の方向性ほぼすべて関わってくるものであったり、協働によるまちづくりもいろいろな部分で関わってくるので、複数の要素を持つものもあるのでこのような構成になっていると考える。分かりやすい要素を考えながら作業していきたい。

(委員) そうでないと絶対にいけないということではない。話の繋がりがあって取り組んでいるといえるものが良い。具体的に何をやる、活動に対してやると言ったとき何をやるか具体化しないと成果が見えない。

(事務局) きれいな形で作りつつも、このキーワードがないと困るといったものが入り込んでくると仰ったとおりのストーリー性から外れてしまうように見えるが、入れておかないと我々も何年後かに何かの事業をやりたいといったときに記載がないと庁内も含め合意形成ができない部分もあるので、仰った形を理想としながら作成していきたい。

(委員) 繋がりと話が分かりやすく、説明もしやすいと思う。より具体的に効果も見やすい。より現実的やるべきと考える。

(事務局) 移住も入っていないので、入れようと思う。

(会長) 今後施策をしていくときに大きな基準になるので、いろいろな項目がないと理由にならないという意味で大切である。

(事務局) ここに記載がないとできないということではないが、上田市としての大元の計画に特徴的なところを上げていくという形になっている。このほかにも必要な部分、重要な部分はたくさんある。

(会長) 地域協議会としては特にこの点を強調したいということを協議すればよいか。この点が武石地域として問題になっているなど。例えば、御柱、おねり行列の継承とあるが、現在余里、小沢根が中心にやっているが、人口減少等で今の状態を維持することがマンパワー的に難しいという話が出ている。これについて地域協議会としてどのように考えていくのかという捉え方か。地域外の人口流出、少子高齢化の進行とあるが、人口の少ない自治会も多く、数回自治会長をやる方もいる中で今後さらに人

口が減っていく場合、今の自治会の枠を超えた統合等も視野に入れていかなければいけないというような問題を地域協議会として協議していくとかの洗い出し、協議していくということで良いか。

(委員) 前回説明のときに総合計画ということなのでここから発展していく細かい個別なことに関してはここには書けないと説明があった。先ずこれがここに載っていればこの先 10 年間のものを発展させていろいろなことできると理解している。

(事務局) 仰るイメージで考えていただければよい。

(事務局) 武石地域をどのようにしていくか、こうしたことを行いたいという思いもあると思うが、個別のこういった事業を行ってほしい等あると思うが、それをここに全て記載することはできない。この文言から武石地域でこうやっていくという方向性があったところで具体的な施策を出していくという議論がなされればよい。総合計画に載せるものについての内容をもう一度ご意見を聞きながら原案を作成し、見ていただいた中で議論してもらえれば良い。総合計画が策定されたところからまた新たな武石地域の事業についてどのように進めるのか意見をいただく場は今後何度でもあり、我々も実施計画を立てながら市の中でも検討し、地域協議会でも協議してもらうことも今後必要となると考える。

今日はこういった載せ方で内容的に良いかどうかを最終的に判断していただきたい。本日皆さんからいただいた意見、意見用紙に記入いただいた意見を吟味し原案を作成する。

(事務局) 28 日(木曜日)までに意見提出用紙を提出いただき、併せて見直し、次回原案として再度提示するので確認いただきたい。

(4) 上田地域における地域協議会の設置単位と委員数等について【事前資料 2】(事務局説明)

【質疑等】

① 上田地域を一つの設置単位にすることについて

・委員からの意見、質問なし

② 最大 6 地域の協議会を一つにした場合の適正な委員数について

(委員) 人数が減ったことで困ることがあるのか。あるのであれば考えた方が良いが、困らないのであれば少なくとも良いと思う。

(委員) 多ければ良いとは思いますが、少なくとも意見が出されるようであれば良いのではないかと。

(事務局) 上田地域に関しては上田で検討することなので、その意見を尊重して賛同するということになるが、武石地域においては人口減少している中で委員一人当たりの人口を見ても、他地域と比べても手厚く委員が配置されている。なかなか委員を受けていただくことが厳しい状況も想定される中で武石地域においても人数を絞った中で進めても良いのではないかと現状を踏まえて次期に向けて検討を進めたいと考えている。

(委員) 考えて意見を発言できる方を任命してほしい。

(委員) 選任はすごく大事な事である。地域協議会はかなり重要な課題を扱い、提言もしないといけない。提言したことにより適切な措置を行わなければいけない。本当にやりたい人優先で、数合わせではない選任をお願いしたい。

(委員) 話が旨い人で少数精鋭で少なくとも良いと考える。

③ 通算して 3 期 6 年を超える委員の再任を認めていない現在の条例の見直しについて

(会長) 6 年の縛りはもったいないと感じる。1 期空ければ再任できることは良いと感じる。

(委員) 意欲のある方は是非やっていただきたいので再任を認めても良いと思う。

(委員) 再任は良いと考える。1 期空けることで想いや意見の偏りも解消されていくので良いと思う。

(委員) わざわざ規制を設ける必要はないので再任は良いと考える。

(委員) 6 年越えても良いと思うが、それで果たして人が増えるかと思う。

④ 委員の役割等の見直しの必要性について

(委員) 見直しする必要があるのか分からない。現段階で動いているのに何か問題があるのか。

(委員) 何かをやるという実働部隊ではなく、情報を収集して施策を考えながら具体的な動きに繋がる提言を行う。難しいと思うがこれ以外足りない部分はあるのか。

(事務局) 役割は維持していくということで異論がなければ結構です。

(委員) 地域性もあるので、それはそれで残さないといけない。

(委員) 今までのとおりで良いと考える。

(事務局) 機会があれば諮りたいと考えていたが、丸子、真田、武石地域については委員数の柔軟な対応を図ることとし、設置単位は当面継続していくとなっている。委員数の柔軟な対応と記載があるが、今期の委員さんは来年度末で任期が切れるが、新年度になってからこの協議会委員数について諮りたいと思う。

5 その他

○上田市過疎地域持続的発展計画の中間評価について

○第 52 回ふれあい・人権の集い

日時：令和 6 年 12 月 7 日（土曜日）午後 2 時～4 時 30 分

場所：丸子文化会館セレスホール

○令和 6 年度武石地区住民会議のご案内

日時：令和 6 年 11 月 23 日（土曜日）午後 1 時～3 時 30 分

武石地域総合センター 1 階コミュニティホール

(1) 第 9 回 地域協議会の日程について

日時：令和 6 年 12 月 12 日（木曜日）午後 7 時～

場所：武石地域総合センター3 階大会議室

6 閉会（事務局）